

各 位

平成18年8月30日
近畿日本ツーリスト株式会社
総務・広報部 担当：佐藤
(TEL：03 - 3257 - 1661)

旅行取扱状況の概観（平成18年7月分）

海外旅行の取扱額をみると、団体旅行では一般団体、学生団体が共に好調で前年実績を大きく超えたため、団体旅行合計は3ヶ月連続の前年比プラスとなった。企画旅行も、ホリデイの好調により大きく前年実績を上回り、3ヶ月連続の前年比プラスと好調であった。一方、個人旅行は取り扱いの伸びが鈍化して前年実績には届かず、5ヶ月ぶりの前年比マイナスとなった。

海外旅行合計は、団体旅行、企画旅行の好調により、前年比114.1%と3ヶ月連続の前年比プラスと好調に推移した。

国内旅行の取扱額をみると、団体旅行では、一般団体が依然前年愛知万博の取り扱いの反動もあって前年比マイナス、学生団体も取り扱いが鈍化し前年実績に届かず、このため団体旅行合計は前年実績に達しなかった。企画旅行は、メイトの取り扱いが伸び悩み前年実績に僅かに届かなかったため、前月に続いての前年比マイナスとなった。個人旅行の取り扱いでは、航空券、宿泊券、その他クーポンの取り扱い好調により、個人旅行合計は11ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。

国内旅行合計は、個人旅行の好調により前年比102.5%と8ヶ月ぶりに前年実績を上回った。

国際旅行は、取り扱いが増加し前年比109.6%と5ヶ月ぶりに前年比プラスとなった。

7月の総取扱額は、国内旅行の堅調、海外旅行の好調により、前年比106.2%と3ヶ月連続で前年実績を上回った。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、イベント関係の取り扱い増により前年実績を大幅に上回った。学生団体も修学旅行、研修旅行の取り扱いが好調で前年実績を大きく超えた。方面別の取り扱いでは、香港、タイ、シンガポール、ミクロネシア、カナダが好調であった。

(2) 企画旅行

ホリデイは、取扱額前年比109%、取扱人数前年比で107%と共に前年比プラスと好調に推移した。方面別取り扱いでは、中国、韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、マレーシアのアジア地区、およびミクロネシアが好調であった。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、取り扱い件数が減少し、大型団体の取り扱いも少なく前年実績に達せず4ヶ月連続の前年比マイナスとなった。学生団体では、修学旅行の取扱いは前年実績を超えたが、修学旅行以外の取り扱いが伸び悩み前年実績に僅かに届かなかった。

(2) 企画旅行

メイトは、北海道・九州・沖縄方面の遠距離商品は好調であったが、大雨の影響もあって近場の宿泊商品の取り扱いが伸び悩んだため、取扱額前年比で99%と前年実績に届かなかった。

(以上)